

第3回村山市立小学校東部地区統合準備委員会

議事 次第

日時 令和7年12月10日（水）18:30～
場所 村山市立樋岡小学校 2階 会議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 議 事

(1) 事業報告等について

資料1

(2) 学校名称アンケートについて（協議）

資料2

（総務部会：No. 1 学校名称）

(3) 学校給食及び学童保育の方向性について（協議・報告）

資料3

（学校運営部会：No. 28 学校給食、No. 35 学童保育）

(4) その他

5 閉 会

第3回村山市立小学校東部地区統合準備委員会出欠名簿

□委員

(順不同・敬称略)

No.	カテゴリー	氏名	所属団体等	所属部会	会議	見学
1	地域代表	鈴木 悟	楯岡元気なまちづくり協議会長	総務		
2		日塔 和好	楯岡地域代表	地域連携		
3		工藤 和典	西郷地域代表	総務	欠席	欠席
4		鈴木 司	大倉地域元気な街づくり協議会	校舎整備		欠席
5		富樫 裕幸	袖崎地域市民センター長	地域連携		
6		永井 雄大	袖崎地域代表	総務		
7	学校保護者	金森 成裕	村山市立楯岡小学校保護者代表	総務		
8		黒沼 洋	村山市立西郷小学校保護者代表	学校運営		
9		松田 英之	村山市立袖崎小学校保護者代表	校舎整備		欠席
10		佐藤 政史	村山市立楯岡中学校保護者代表	地域連携		
11	認定こども園等代表	奥山 博貴	楯岡幼稚園保護者代表	校舎整備		
12		栗野 恭介	しょうよう保育園保護者代表	校舎整備		
13		矢萩 好彦	輝認定こども園保護者代表	学校運営		欠席
14		鈴木 立	ひばり保育園保護者代表	地域連携		欠席
15		斎藤 浩太	西郷認定こども園保護者代表	学校運営		
16		八鍬 瑞穂	ふたば袖崎保育園保護者代表	学校運営		
17	小中学校代表	井上 敏春	村山市立楯岡小学校長	教育課程		
18		佐藤 淳	村山市立西郷小学校長	教育課程		欠席
19		高橋 郁子	村山市立袖崎小学校長	教育課程		
20		加藤 淳一	村山市立楯岡中学校長	教育課程	欠席	欠席

□事務局（村山市・村山市教育委員会）

No.	所 属	氏 名	兼 務	主担当部会	備考
1	教育長	大内 敏彦		-	
2	学校教育課 課長	細谷 充	学校統合推進室 室長	総務	班長
3	教育指導室 室長	村田 紳	学校統合推進室 室長補佐	教育課程	副班長
4	学校教育課 課長補佐	高橋 留美		総務	副班長
5	庶務主査	秋久保洋紀	学校統合推進室 推進主査	学校運営	班長
6	施設係長	細谷 祐太	学校統合推進室 推進係長	校舎整備	班長
7	学校統合推進員	井澤 豊隆	学校統合推進室 学校統合推進員	地域連携	班長
8	学校統合推進員	笛原 聰	学校統合推進室 学校統合推進員	教育課程	班長
9	子育て支援課 課長補佐	菅原 憲一		学校運営	
10	子育て支援課 主任	滝口 雄太		学校運営	

【資料1】

村山市立小学校東部地区統合準備委員会 資料

1 事業報告

No.	期日	曜日	事 業 名	会 場
1	9月10日	水	第2回村山市立小学校東部地区統合準備委員会	農村環境改善センター
2	9月11日	木	第2回学校給食事業における庁内検討会	村山市役所内
3	9月18日	木	校舎整備部会作業班打合せ④	農村環境改善センター
4	10月1日	水	むらやま統合タイムズ（第4号）発行	—
5	10月2日	木	校舎整備部会作業班打合せ⑤	農村環境改善センター
6	10月21日	火	総務部会作業班打合せ③	村山市役所内
7	11月14日	金	学校運営部会作業班打合せ②	農村環境改善センター
8	11月25日	火	第1回総務部会	〃
9	12月2日	火	第1回学校運営部会	〃
10	12月10日	水	第3回村山市立小学校東部地区統合準備委員会	楯岡小学校

2 事業予定

No.	項目	内容	部会
1	12月23日 火	第1回総合教育会議 予定議案 (1) 葉山学園基本設計書（改修概要、事業費等） (2) 大久保小学校給食施設改修 (3) 西部地区スクールバス関連	村山市役所内

3 今後の会議予定

No.	期日	曜日	事 業 名	会 場
1	3月10日	火	第4回村山市立小学校東部地区統合準備委員会	農村環境改善センター
			※各専門部会、作業部会は隨時開催	小会議室 等

検討項目	No.1	学校名称	R7.11.25 【資料2】
------	------	------	----------------

«作業班素案»	【部会名】	総務部会	【担当者】	秋久保 洋紀
---------	-------	------	-------	--------

No	検討案	内 容	備考(○メリット/▲デメリット)	候補
1	校名継続	・現「楯岡小学校」を継続 ・西部地区のような形態変更ではない	○児童数が多く、広く慣れ親しまれている校名である ○校名変更に比べて、条例・規則の改正が少ない ○中学校との連携において同じ名称のほうが連帯感がある ▲新設校となるが真新しさがない ▲統合基本計画策定段階で校名変更を望む地域の声がある	
2	校名変更	・変更方法(アンケート等)について、 検討、協議を行う	○新しい学校として再スタートする印象ができる ○変更に取組むことで地域の声に応えられる ▲広く慣れ親しまれている校名である(特に楯岡地域の反響) ▲校名変更に比べて、条例・規則の改正が多い ▲中学校との連携において、違う校名では接続イメージが希薄 ※アンケート実施であれば、校歌・体操着についても同時実施するか	○

«スケジュール»

年	月	日	内容
07	10	~	作業班、総務部会にて校名変更方法について協議
	12	10	準備委員会にて校名変更方法について承認
	12	15	在校生、保護者(学校、こども園)、教員、一般市民へのアンケート実施
08	01	15	アンケート締切、集計
	02		作業班、総務部会(アンケート結果を踏まえ、校名(案)を協議、決定)
	03	10	準備委員会(部会案の協議、決定)
	03		教育委員会議、総合教育会議で承認
	04		条例・規則改正準備

【葉山学園（令和6年度）】

《趣旨》

- 新たな義務教育学校の発足
- 将来、学校を地域で支えるコミュニティスクールを目指していることから、地域内の多くの方々に関心を持ってもらうためにも、公募を行う（最終決定は市判断）。

《プロセス》

- ①R6. 09 作業班にて校名募集概要、チラシ等を作成
- ②R6. 10 準備委員会にて作業班原案を承認
- ③R6. 11 一般公募開始（延長し 12/27まで募集 応募数 126件）
- ④R7. 02 総務部会にて一次選考
- ⑤R7. 02 第二次募集（児童・生徒対象）
- ⑥R7. 03 総務部会、準備委員会、総合教育会議を経て校名決定

【大倉小学校（平成25年4月楯岡小へ統合）】

《経緯》

小学校の適正規模と適正配置に関する基本方針案を受け、大倉小学校地域協議会にて児童数の減少と施設の老朽化に伴い統合を決定。

《プロセス》

大倉小学校統合準備委員会を立上げ統合について検討を進めたが、校名については特に議題となっていない。

【葉山中学校、戸沢中学校、大高根中学校（平成16年4月葉山中学校へ統合）】

【西郷中学校、袖崎中学校（平成17年4月楯岡中学校へ統合）】

《経緯》

村山市中学校学区再編成（統合）に係る地域代表者会などを経て答申した計画において、準備委員会を設置しスムースな学区再編を目指すこと、東部では西郷・袖崎地域より校名等について新たに制定してほしいとの要望があることなどの留意点が挙げられた。

《プロセス》

- ①H12. 05 西部地区統合準備委員会設置
- ②H12. 09 東部地区統合準備委員会設置
- ③H13. 05 地域懇談会などを経て、校名についてアンケートを実施（東西同時）
- ④H13. 06 校名決定

村山市東部地区統合小学校の校名募集要項

1	募集目的	村山市立の小学校再編成に伴い、東部地区の3つの小学校(楯岡小、西郷小、袖崎小)が、令和11(2029)年4月、現楯岡小の校舎敷地内で統合校として開校します。村山市の未来を拓く子どもたちの学校に相応しい「学校名」を募集します。
2	募集期間	令和8(2026)年1月15日(木)～2月15日(日)
3	募集内容	① 校名(字数制限は特になし) ※現校名を含みます ② 校名の理由(由来・想いなど)
4	応募資格	どなたでも応募可能です。(年齢・所属・居住地など問いません。) 市内外を問わず応募できます。
5	応募基準等	① 常用漢字、ひらがな、カタカナを使用すること。 (アルファベット、記号は使用しないこと。) ② 村山市東部地区小学校の統合校に相応しい名前であること。 (読みやすさ、わかりやすさ、言いやすさなども考慮する。) ③ 応募は <u>一人1点</u> とします。(同一世帯でも児童・保護者等それぞれ応募可能ですが、重複応募防止のため記名式とします。)
6	応募方法	① 応募用紙での応募 (市ホームページにも掲載) ・専用の用紙(別紙)、または任意の用紙に必要事項を記入の上、事務局あてに提出する。提出方法は、郵送・ファックス・メール等とする。 (受付窓口)○市役所3階 学校統合推進室(学校教育課)  (見本) ○各地域市民センター ② WEBからの応募 https://logoform.jp/f/Fp0 (右記の応募フォームにアクセスし、必要事項を記入し送信)
7	広報の方法	① 村山市報「むらやま市民の友」での記事掲載(1月15日号) ② 市ホームページ/SNS等WEB活用 ③ チラシ配布・ポスター掲示(東部地区小学校、幼保施設、市民センター等) ④ その他(新聞等へのプレスリリース)
8	校名の決定方法	応募いただいた校名を参考にして、今年度内をめどに、村山市教育委員会において選定します。ただし、 <u>応募多数の名称が選ばれるとは限りません。</u>
9	結果の公表等	決定された校名については、市報及びホームページ(統合タイムズ)等で、 他の上位校名とともに結果を公表する予定です。 また、決定された名称に関する一切の権利は、村山市教育委員会に帰属するものとします。応募者の個人情報については、校名募集に関すること以外には使用しません。
10	提出先	村山市教育委員会学校統合推進室(学校教育課内) 担当:庶務係 電話:0237-55-2111(内323) FAX:0237-55-2155 Email:education@city.murayama.lg.jp

東部地区の小学校(楯岡・西郷・袖崎)が統合して、新しい小学校になります!!



2029
(R11)

4月開校 校名募集!

現楯岡小学校の校舎・敷地
を有効利用し、統合校
としてスタートします!!

〈募集期限〉
令和8年2月15日(日)

どなたでも応募可能です。統合小学校にふさわしい校名を、どしどしご応募ください！

募集内容

- 校名(現校名も含みます)
- 校名の理由(由来・想いなど)

応募資格

- どなたでも応募可能
(年齢・所属・居住地など問いません)

応募基準等

- 常用漢字、ひらがな、カタカナを使用してください。
(アルファベット・記号は使用しないでください。)
- 村山市東部地区の統合校に相応しい名前。
(読みやすさ・わかりやすさ・言いやすさなど)
- 応募は、一人1点とします。(記名式としますので、同一世帯でも児童・保護者等それぞれが応募することができます。)
- 応募多数の名称が選ばれるとは限りません。

応募方法

①応募用紙での応募(裏面)

裏面の用紙に必要事項をご記入の上、下記のいずれかに提出ください。

- 市役所3階学校統合推進室(学校教育課)
- 各地域市民センター

[提出方法]

- 持参・郵送・FAX・メールのいずれか

②WEBからの応募

下記の応募フォームにアクセスし、必要事項をご入力のうえ、ご応募ください。

(応募フォーム)

<https://logoform.jp/f/FeB>



結果の公表

市報及びHP(統合タイムズ)等で、他の上位校名とともに結果を公表する予定です。

【問い合わせ】村山市東部地区学校統合準備委員会

事務局：村山市教育委員会学校統合推進室（学校教育課）TEL：0237-55-2111（内323）

村山市東部地区統合小学校 校名募集

応募用紙

(応募期限)令和8年2月15日

①校名

ふりがな	むらやましりつ
校名	村山市立
校名の理由 (由来・想いなど)	

②応募者

ふりがな			
氏名(必須)			
住所(必須)	〒 都道府県	市区町村	
年齢	歳		
連絡先	電話番号 : メールアドレス:		
市外にお住いで 村山市内の学校 を卒業された方	卒業学校名:		

※WEBの応募フォームで応募される方は、この応募用紙での提出は不要です。

※応募は一人1点です。重複防止のため、(必須)事項に記載なき場合は集計
できないことがあります。予めご了承ください。

【提出先】 村山市教育委員会学校統合推進室(学校教育課)

〒995-8666 村山市中央1-3-6

電話:(0237)55-2111/ FAX:(0237)55-2155

Email:education@city.murayama.lg.jp



(1) 給食施設の方向性について

【資料3】

① 給食事業の現状

区分	学校	給食開始	経過	委託	現在
小学校	楯岡小 東部地区	H5：給食施設新築 H6年4月：給食開始 <u>(・・・これを以て、市内全小学校で給食開始)</u>	H6～H30：直営（25年間） R4～：炊飯のみ「山形広域炊飯施設」に委託（それ以前は、民間業者に委託）	H28年度～：調理委託（人材派遣） 【単独調理×人材委託方式】 （調理人を派遣してもらい（=人材派遣を委託） 学校内で調理をする方式）	R6～R8：3年間 (小学校全校委託の初年度) 給食委託会社： （株）メフオス （=ディカルMedical Food food サービス Service）
	西郷小	S38年9月：給食調理室新築 S39年6月：同上 増築 <u>S39年6月：完全給食実施</u>	S53年6月：米飯給食実施（週1/木）/H元年：学校給食優良校/（県知事表彰） ～R5：直営（60年間）	R6年度～：同上	【単独調理方式】 × 【人材委託方式】
	袖崎小	<u>H5年4月：完全給食実施</u>	H5：給食室・調理室完成 ～H30：直営（26年間）	H28年度～：同上	
	大久保小 西部地区	<u>H5年4月：完全給食実施</u> (給食調理室・ランチルーム完成)	H9年：学校給食優良校 ～H30：直営（26年間）	R元年度～：同上	
	富本小	<u>H2年4月：完全給食実施</u> (S39：牛乳給食開始)	～R4：直営/子ども園との親子給食のため	R5のみ：（株）ベスト（鶴岡市）に委託	* メフオスは、 全国550か所の運営実績（2024年） (学校給食委託: 50年以上のキャリアあり)
	戸沢小	S39年：給食室新築 (創立25周年記念事業)	～H30：直営（54年間）	R元年度～：調理委託（人材派遣）	
	富並小	<u>H3年4月：完全給食実施</u> (S23：脱脂粉乳提供)	～H30：直営	R元年度～：調理委託（人材派遣）	
中学校	楯岡中	<u>H17年開校/給食開始</u> (【副食給食方式】おかげのみ、ご飯弁当持参)（29年経過）	（受託）みちのく村山農協 <u>H17～R元まで：副食給食</u> (ご飯のみ持参する方式)	<u>R2年度以後、完全給食</u> (株)天童給食センター東根工場 【食缶デリバリー方式】 (給食を工場で作り、食缶に入れて学校に運搬し提供する方式)	R2～R7：計6年間 (R9まで延長契約の見込み)
	葉山中	<u>H16年開校/給食開始</u> (【副食給食方式】おかげのみ、ご飯弁当持参)（20年経過）	同上 <u>H16～R元まで：副食給食</u> (H16年12月：ノロウイルスによる集団食中毒発生/一時休止)		(株)天童給食センター 東根工場

今後の方向性：当面は現状方式とし、将来的に樁小を拡張改修し樁中へ運搬する（親子方式）

給食経費（ランニングコスト）の概算 (単位：円)

現状方式（R7） (小学校=自校方式) (中学校=デリバリー方式)	1 現状方式（R11） (小学校=自校方式) (中学校=デリバリー方式)	2 単独校調理方式 (自校方式)	3 共同調理場方式 (親子方式：樁小⇒樁中)	4 民間調理配達方式 (デリバリー方式)
		<p>『主なメリット』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食を適温で提供できる ・衛生管理、アレルギー対応可 ・配送不要 <p>『主なデメリット』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配膳等の生徒指導上の教師負担増 ・敷地確保と施設、設備投資が必要 	<p>『主なメリット』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近場のため比較的適温で提供できる ・衛生管理、アレルギー対応可 ・敷地確保が不要 <p>『主なデメリット』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配膳等の生徒指導上の教師負担増 ・施設、設備投資が必要 ・配送費が発生 	<p>『主なメリット』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期間での給食導入が可能 ・初期投資、維持経費が最小限 ・敷地確保が不要 <p>『主なデメリット』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応可能な業者が少ない ・衛生管理指導の徹底が必要 ・事故等で遅れる可能性有
給食経費（ランニングコスト）の概算				
東部3小学校（710食：児童数620人）	樁小（580食：児童数535人）	樁小（580食：児童数535人）	樁小（580食+350食：児童生徒数850人）	樁小（580食：児童数535人）
調理業務委託料（14人） 51,500,000	調理業務委託料（概算）8人 29,700,000	調理業務委託料（概算）8人 29,700,000	調理業務委託料（概算）10人 37,200,000	調理・配達業務委託料 48,900,000
広域炊飯負担金 1,900,000	広域炊飯負担金 1,900,000	広域炊飯負担金 1,900,000	広域炊飯負担金 3,100,000	
器具更新・修繕 600,000	器具更新・修繕 200,000	器具更新・修繕 200,000	器具更新・修繕 200,000	
樁中（350食：生徒数315人）	樁中（350食：生徒数315人）	樁中（350食：生徒数315人）	配達費 7,200,000	樁中（350食：生徒数315人）
調理・配達業務委託料 29,500,000	調理・配達業務委託料 29,500,000	調理業務委託料 6人 22,300,000	調理・配達業務委託料 29,500,000	調理・配達業務委託料 29,500,000
83,500,000	① 61,300,000	② 54,300,000	③ 47,700,000	④ 78,400,000

現状との比較 ②-① -7,000,000 ③-① -13,600,000 ④-① 17,100,000

+

+

+

+

改修経費（初期投資）の概算					
東部3小学校（710食：児童数620人）	樁小（580食：児童数535人）	樁小（580食：児童数535人）	樁小（580食+350食：児童生徒数850人）	樁小（580食：児童数535人）	
施設改修費 なし	施設改修費 なし	施設改修費 なし	施設改修費（拡張） 3億1千万円	施設改修費 3千万円	
器具更新・修繕 8千万円	器具更新・修繕 8千万円	器具更新・修繕 8千万円	器具更新・修繕 8千万円		
樁中（350食：生徒数315人）	樁中（350食：生徒数315人）	樁中（350食：生徒数315人）		樁中（350食：生徒数315人）	
施設整備費 なし	施設整備費 なし	施設整備費（新設） 4億5,500万円		施設改修費 3千万円	
8千万円	8千万円	5億5千万円		3億9千万円	6千万円

今後の方向性：大久保小学校ランチルームを改修し、葉山学園へ運搬する（準センター方式）

(単位：円)

1 現状方式 (R7) (小学校=自校方式) (中学校=デリバリー方式)	2 単独校調理方式 (自校方式：葉山学園)	3 共同調理場方式 (準センター方式：大久保小⇒葉山学園)	4 民間調理配達方式 (デリバリー方式)
	<p>«主なメリット»</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食を適温で提供できる ・衛生管理、アレルギー対応可 ・配送不要 <p>«主なデメリット»</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配膳等の生徒指導上の教師負担増 ・敷地確保と施設、設備投資が必要 	<p>«主なメリット»</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近場のため比較的適温で提供できる ・衛生管理、アレルギー対応可 ・敷地確保が不要 <p>«主なデメリット»</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配膳等の生徒指導上の教師負担増 ・施設、設備投資が必要 ・配送費が発生 	<p>«主なメリット»</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期間での給食導入が可能 ・初期投資、維持経費が最小限 ・敷地確保が不要 <p>«主なデメリット»</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応可能な業者が少ない ・衛生管理指導の徹底が必要 ・事故等で遅れる可能性有
給食経費（ランニングコスト）の概算			
西部4小学校（245食：児童数180人） 調理業務委託料（9名） 38,000,000 器具更新・修繕 800,000	葉山学園（300食：生徒数240人） 調理業務委託料（6名） 25,300,000 器具更新・修繕 200,000	葉山学園（300食：生徒数240人） 調理業務委託料（6名） 25,300,000 器具更新・修繕 200,000 配送費 7,200,000	葉山学園（300食：生徒数240人） 調理・配送業務委託料 25,400,000
① 51,500,000	② 25,500,000	③ 32,700,000	④ 25,400,000
現状との比較 +	②-① -26,000,000 +	③-① -18,800,000 +	④-① -26,100,000 +
改修経費（初期投資）の概算			
西部4小学校（245食：児童数180人） 施設改修費 なし	葉山学園（300食：生徒数240人） 施設改修費（新設） 3億9千万円	大久保小（300食：生徒数240人） 施設改修費（拡張） 1億5千万円	葉山学園（300食：生徒数240人） 施設改修・設備費 3千万円
葉山中（150食） 施設整備費 なし	3億9千万円	1億5千万円	3千万円

小学校統合に伴う学童保育の運営について

1 基本方針（案）

小学校統合後も、各地域（楯岡、西郷、袖崎）において学童保育を継続する。

2 現 状

■小学校区ごとに放課後児童クラブを設置（公設民営3クラブ、民設民営1クラブ）

小学校	クラブ名	児童数 (R7)	運営母体
楯岡小学校	たてやまキッズクラブ	176	NPO 法人ランドセル
	学童クラブ D-ぽけっと	85	花岡学園（民設民営）
西郷小学校	コスモスきっずクラブ	36	運営委員会（まち協）
袖崎小学校	洗心児童クラブ	33	NPO 法人ランドセル

3 学校統合後の運営パターン案及び課題

■パターン1：現在の小学校区ごとにクラブを設置

メリット：家からのお迎えが近い。（今と変わらない。）

デメリット：小規模のクラブとなることで、運営が厳しくなる。

課題：各地域に、学童保育のための施設を確保しなければならない。

■パターン2：楯岡地区にクラブを設置（統合）

メリット：大規模のクラブとなることで、運営が容易になる。

デメリット：西郷及び袖崎地区の家庭では、家からのお迎えが遠くなる。

楯岡地域放課後児童クラブ施設 ⇒ 西郷小学校 4.2km 車 8分

⇒ 袖崎小学校 7.3km 車 12分

課題：現在の利用率から統合時の利用者数を推計すると、楯岡地域放課後児童クラブ施設及びDポケットの収容人数を超える。

4 今後の進め方

■統合時の学童保育利用対象児童（現在の2～7歳児）世帯に、アンケート調査を行い学童施設の設置方針を決定する。

アンケート調査は令和8年夏頃を予定。